

熊日学童オリンピック(バレーボール)準優勝



7月30日から8月1日の3日間、熊日学童オリンピック大会がありました。1日目は黒髪小と日吉小でした。2試合ともストレート勝ちで2日目につなぎました。2日目は人吉ジュニアと大津ジュニアでした。人吉ジュニアにはストレート勝ちでした。大津ジュニアは、この前のスポーツ少年団大会の決勝戦で私たちが負けた相手でした。だけど「絶対に勝つぞー」とみんなで声を掛け合い、みんなでボールをつなぎました。フルセットのすえ勝ちました。とてもうれしかったです。3日目の準決勝は、川上小でした。川上小にはストレート勝ちで、いよいよ決勝戦の相手は益城中央VBCです。益城中央VBCは前回の熊本県大会で優勝し全国大会出場チームです。益城中央VBCは私たちより身長が高く、レシーブ力があつてトスマッシュがよく、早いこうげきです。なかなかブロックがとまりませんでした。気持ちの弱い面もありストレートで負けました。悲しかったです。益城中央VBCに負けたのはくやしかったけど準優勝だったのでうれしかったです。最後の表彰でみんなに一個ずつメダルを首にかけてくれました。銀メダルでした。来年は後輩たちに絶対金メダルを取ってほしいです。秋季大会はぜったい優勝したいです。

長濱杏奈(平国下)

津奈木クラブチーム 城南地区野球大会優勝



6月に芦北郡予選を勝ち進み、7月24・25日に行われた第36回城南地区社会人軟式野球大会に出場し、1回戦：3対0(天草市代表)本渡ベ이스ターズ。2回戦：3対1(八代市代表)日本製紙と順調に勝ち進み、準決勝：4対1(上天草市)オール大矢野。決勝は11対0(前年度優勝水俣市代表)港クラブとの対戦で見事優勝に輝きました。川野靖文監督(中尾地区)は、「若手ののびのびとしたプレーとベテランの巧みな技が冴え渡り、野球を楽しみながらこのような結果を得ることができた」と、数十年ぶりの優勝とあつて喜びもひとしお。また、津奈木町にも素晴らしい選手たちがいることを証明できたのではないのでしょうか。

短歌

つなぎ短歌会

強き雨降りしくなかを高速道
工事現場の音絶えることなく

寺本ツルヲ

予期せざる集中豪雨の惨状を
写すテレビに言葉なかりき

西 滋子

通り雨山をめぐりて廃校の
三角屋根を濡らして過ぎぬ

野田浦子

きららかに木の葉にそそぐ陽の光
まぶしく見えて梅雨明るくらし

加来道子

散歩する池のほとりに会いし猫
なつかぬ性か呼べど応えず

金口 絹

肥後狂句

ようしたもん
ちゃんと嫁ごも子もおつと
念入れて
化粧したこたしたばってん

達生

ようしたもん
親に似てきた頑固もん
念入れて
作ってみたがパツとせん

宰相

ようしたもん
場数をふめばようしやべる
念入れて
昔気質は手作りで

寅之助

ようしたもん
無かなら無かで暮らさるる
念入れて
別人のごつなつとらす

万葉

〔次回の笠〕

○あこがれ

○残念

○一笠一句を

十月五日(火)迄

津奈木町教育委員会へ